

マルサン塗料株式会社

事業計画名

自動車修理工場等の水性塗装化を促す「水性塗装化プロジェクト」の推進



湿度や温度、空調を管理できる水性塗料専用の塗装ブース

有機溶剤を使用しない自動車塗装を業界に啓発、牽引 水性塗料対応ブースの導入で環境負荷を軽減

マスキングテープなど 100 を超える
オリジナル商品を展開している

複数の塗料メーカーの特約代理店を務めるマルサン塗料株式会社は北海道における自動車補修の塗料卸売業のリーディングカンパニー。欧米先進国では自動車の塗料として水性塗料がスタンダードになっており、日本においてもその活用が迫られていることをいち早く受け止め北海道での塗料販売で初めて水性塗料対応ブース導入とスタッフの育成に踏み切った。



外部機関アクゾノベル社主催のオートウェーブ（水性塗料）トレーニングの研修を修了

開発動機

日本は出遅れている感があるが、現在世界で販売されている自動車には、水性塗料が使われる潮流にある。それまで主に用いられていた溶剤型塗料には有機溶剤が含まれていることから、環境汚染の一因となり、作業従事者の健康を害する恐れがあるため使用が懸念されていた。欧州ではすでに溶剤型塗料の使用は禁止され、水性塗装化している。国内においては、設備投資や水性塗料への不安から導入は足踏み状態だが、今後は環境や健康面の配慮から欧州と同様の展開が予想されるため、自動車塗装業界を牽引すべく北海道で初めて導入に踏み切った。

実施内容

かねてより本社社屋の隣に、顧客である自動車修理工場などに対して研修・啓発活動等のサービスを展開するカスタマーサポートセンター（研修所）を保持していたが、そこに水性対応型塗装ブースを導入した。温度、湿度、風量を調整できるため、水性塗料の欠点である乾燥スピードの遅さを解消することができる。専用ブースにより、塗装面のホコリ付着が少なく、作業時間短縮、コスト削減、品質向上につながる。同社スタッフは水性塗料の世界的な先進メーカーであるアクゾノベル社が主催する技術研修に参加して、シッケンズ塗装技術者としての認定を取得した。

事業成果

同社の顧客である自動車修理工場の塗装作業員に水性塗料の技術研修を実施した。招致した関西ペイント担当者とともに同社スタッフがサポートを務めた。板金塗装の基礎知識から調色作業、各種塗装トレーニングの実践など「技術力、生産性も向上した」と評判も上々であった。研修会は社内技術者のスキルアップはじめ、顧客への水性塗料の啓発活動やアフターフォローにもつながることから、継続して開催している。



同社研修センターに導入した塗装ブースで研修会を開催

Vision



塗装作業従事者と経営者の負担を軽減する取り組み

専務取締役 立花 秀樹 氏

10年以上前から水性塗装化への動向には着目していましたが、このたび人材に恵まれ、補助金の交付など幾つもの好機もあり、導入に踏み切ることができました。実際に導入してみると、水性塗装は従来の溶剤型塗装より技術的難度はやや高く、専用ブース導入のためのコストアップがともなうことは否めません。しかし、水性塗料が持つ作業環境改善による作業員の定着率アップや、能率向上によりランニングコストが下がることが予想できます。さらに、今後の世界的な動向を考慮すると水性塗装への移行は、そう遠くはありません。北海道における自動車補修の塗料卸売業のリーディングカンパニーであることを自負し、環境にやさしい水性塗料についての啓蒙・普及活動に尽力していきます。

Company Data

マルサン塗料株式会社

TEL.011-741-3421 FAX.011-742-6087

<http://www.marusan-t.co.jp/>

住 所 ● 札幌市東区苗穂町15丁目2-17

代表者名 ● 代表取締役社長 濱 伸一

資 本 金 ● 1000万円

従業員数 ● 40人

設 立 ● 昭和41年11月

事業内容 ● 各種塗料・副資材の販売、機械工具・設備品の販売など